

1998(平成10年)

第17号

3月31日発行

# 育連だより

編集・発行 川崎市青少年育成連盟

理事長 中島忠三

事務局

〒211 川崎市中原区上小田中6-22-5

エポックなかはら5階

電話 044-733-3951

印刷

西桜印刷株式会社

川崎市子ども会連盟 ボーイスカウト川崎地区協議会

川崎市青少年育成連盟

ガールスカウト川崎市連絡会

川崎海洋少年団

## 地方自治法施行50周年——記念

# 自治大臣表彰を受ける

## 官民一体の活動を評価

### 青少年団体では全国唯一

平成九年は、昭和二十二年に地方自治法が施行されて五十周年にあたりました。これを記念して自治省では「地方自治の伸張及び住民の福祉の増進に努めた」個人と団体を地方自治功労者として表彰し、川崎市青少年育成連盟が「家庭・学校・地域社会と連携した実践的・活力的な青少年育成活動を推進した」として青少年団体としては全国で唯一受賞しました。



### Hall A

地方自治法施行50周年記念式典

「地方自治の伸張及び住民の福祉の増進に努めた」個人と団体を地方自治功労者として表彰し、川崎市青少年育成連盟が「家庭・学校・地域社会と連携した実践的・活力的な青少年育成活動を推進した」として青少年団体としては全国で唯一受賞しました。

## 懐かしい顔、一同に会し 祝賀会、開催さる

以来、川崎市の青少年の育成に積極的な活動を行ってきたが、五十年以上にもわたる活動と少女の健全な育成という共通の目標のもとに、設置の目的や組織・構成など異なる団体が一体として

育成連盟が自治大臣表彰を受賞したことを連盟の活動に関わってきた関係者に報告し、祝うために一月二十九日、武蔵小杉のホテル・ザ・エルシエで受賞祝賀会を開催、行政関係者や教育関係者、また各団体から約一五〇人が出席しました。

高評議員から育連の歩みと自治大臣表彰受賞に至る経過の説明がありました。さらに、来賓として市長代理の深瀬功俊と布川教育委員長から祝辞をいただきました。同時に、岡崎神奈川県知事と川崎市議会の原議長と立野副議長の祝電の披露がありました。また、深瀬功俊からは育成連盟が自治大臣表彰を受賞したことへの功績をたたえ、川崎市中から育成連盟に銀杯が贈られました。さらに各団体の子供たちからお祝いのことがあり、式

なっており、祝賀式は平成九年十一月二十日東京有楽町の東京国際フォーラムで開かれ、当日は育成連盟を代表して中島理事長が出席しました。天皇皇后両陛下の御臨席のもとに、橋本総理大臣代理、自治大臣、衆参両院議長、最高裁判所長官ら全国から関係者約三千人が出席して厳粛な雰囲気の中で執り行われました。



また。青少年の家を利用していただいて六年目を迎えた、もちつき大会を今年も快晴の中、行いました。せいろを使い、新割りから始めて、炊いていますが、子供たちもみな、慣れた様子です。始めは一人で杵を持ってなかなか子供では率先してたいています。自分でついたおもちを食べられる事で、嬉しくてたまらないので、自分より年少のものへの火の炊き付け方を教えたり、一緒に杵を持ってあげていたりしています。「自分の食べる物は、自分で作るうね。」と声をかけてあげる子供もいます。始めはもちがどうやってできるのか全く知らなかったと思えます。店頭に出ているものしか食べた事がない子供がほとんどで当然なことでしょう。たたいに内、次第にほんわりとおもちらしくなると、誰でも感動をするし、出きあがったばかりのおもちのおいしさは格別です。今後毎年、一月はこのもちつき大会を活動予定に組み入れて行きたいと考えております。

第二部は懇親会が開かれました。芦原副理事長の開会のことば、飯村市民局長、齋藤健康福祉局長のお祝いのことばに続き、乾杯の挨拶に立ったさくら会長の会長は、育成連盟が文部省からではなく自治省から表彰されたことの意味が大きいと話されました。懇親会では、歴代の理事長や育成連盟に携わった行政・教育関係の職員、また各団体の代表が会場一杯に埋めつくし、育連の昔話や、旧友とのなつかしい話に華が咲きました。最後に、福田監事が開会の挨拶をして祝賀会を終りました。

「ヨイショ、ヨイショ」の明るく元気な声が今年も響き渡りました。最近、青少年による刃物を使った殺傷事件が頻発していますが、その背景の一つとして青少年の間でパタフライナイフ等の刃物の携帯が流行していることが挙げられます。このような刃物による事件の再発防止を図るため、育成連盟とい

### 解説

政府は、平成九年の地方自治法（昭和二十二年五月三日施行）五十周年を記念して、

## 自治大臣表彰とは

「地方自治の意義と重要性とを再確認し、各地方公共団体の一層の発展と地方自治の伸張を期することにより、地方自治の本旨の実現と民主政治の確立に寄与するため」記念

の推薦に基づき、団体表彰と個人表彰の二部門がある。団体表彰では市町村（八四）都道府県（一五）民間団体等（七七）が、個人

式典を挙げて、あわせて地方自治功労者の表彰を行った。自治大臣表彰は都道府県知事

の推薦に基づき、団体表彰と個人表彰の二部門がある。団体表彰では市町村（八四）都道府県（一五）民間団体等（七七）が、個人

## 県知事の推せんに基づき

の推薦に基づき、団体表彰と個人表彰の二部門がある。団体表彰では市町村（八四）都道府県（一五）民間団体等（七七）が、個人

の推薦に基づき、団体表彰と個人表彰の二部門がある。団体表彰では市町村（八四）都道府県（一五）民間団体等（七七）が、個人

## 自治大臣表彰



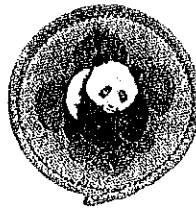
## 健全な育成環境めざし 一層強く取組みを

最近、青少年による刃物を使った殺傷事件が頻発していますが、その背景の一つとして青少年の間でパタフライナイフ等の刃物の携帯が流行していることが挙げられます。このような刃物による事件の再発防止を図るため、育成連盟とい

育成連盟では、このような重大事件の再発防止と、青少年の健全な育成環境づくりに向け、今後とも関係機関・団体と連携を図りながら効果的な取り組みを行ってまいります。このように刃物による事件の再発防止を図るため、育成連盟とい

# 環境保護教育めざし

## ボーイスカウト 本格的に取り組む



環境保護バッジ

A K S C とは（オール川崎指導者会議）の略で川崎地区の指導者が一堂に集まり、情報交換・その時に関心の高いテーマについて、討議・研究・実技習得をねらいとして昭和六一年から毎年開催され二回目を迎えます。今回は「世界環境保護バッジ」の導入が日本連盟で決定されたのを機会に「環境学習のためのプログラム研究」がテーマとなりました。

「世界環境保護バッジ」とは第二回世界スカウト会議（ナイロビ）でW W F / 世界自然保護基金と協力関係を結ぶ覚悟が交わされ、世界スカウト章とW W F のシンボル（パンダマーク）を組み合わせた「世界環境保護バッジ」が制定されました。このバッジを購入すると代金の一部がW W F に寄付され、基金の援助に使われます。日本連盟では平成九年からバッジの着用が決められ、これを着けることは環境保護活動へ積極的に参加する意思表示にもなっています。

### 第二回AKSC

平成九年一月二九日（三〇日）に一泊二日で風川野外活動センターを主会場として行われました。環境教育プログラムといっても漠然としているため、市民局青少年課のお骨折りで「入江総合スラッジセンター」（川崎区）「も

ぐら博士館」（幸区）を見学、最新の環境対策技術の説明を受けました。その後黒川野外活動センターに移動して、水環境研究家桂川雅信氏による「環境を見る目を考える」、環境庁環境カウンセラー橋本広茂氏の「今、なぜ環境教育か」の講演が行われました。

翌日は施設見学、講演会の知識を基に討議・全体会議が行われ、「川崎環境宣言」を採択しました。

### 環境教育を考えるプログラム学習

「私たち、川崎のボーイスカウトは環境を考えたスカウトイングを実践します」

「年間を通じた」

●年間目標表を作ります

●CO2家計簿を作ります

●家族とのコミュニケーションを密にします

●お年寄りを訪問します

●スカウトがリーダーシップをとって家庭の中で環境問題について積極的に問い掛けをします

「私たちが、川崎のボーイスカウトは環境を考えたスカウトイングを実践します」

「年間を通じた」

●年間目標表を作ります

●CO2家計簿を作ります

●家族とのコミュニケーションを密にします

●お年寄りを訪問します

●スカウトがリーダーシップをとって家庭の中で環境問題について積極的に問い掛けをします

# 手ヨット自信がもてた

## 子ども会

私がこの六泊七日という今までに参加したことのない、とてつもなく、そして謎めいたトレーニングキャンプに参加したのは、今年高校を卒業し、ジュニアリーダーという立場から指導者という立場になったいま、私は本当に後輩を指導していくだけの力があるのだろうかか、そんな不安と自己の問題を解決し自分自身をしっかりとトレーニングしてこようと思いつきました。

私が七日間という時を過ごしたところは、兵庫県にある子ども自然村というみわたす限りの大自然に囲まれた場所、そこは七年前自分たちの村を造りだそうという事で作り上げてきた、手づくりの村でした。今、自分達に必要な物、その物をその年の課題とし、WORKING という時間の中で作りあげてきました。今年はずっとおこ小屋、また話



中心となる場に屋根を作ろうという事になりました。毎日が力仕事で大変でしたが、みんなで作っていきこうという気合いと団結もあり楽しくやっていたのだと思います。四日目はモンゴル博物館という自然村から車で三十分ぐらい離れた所へ行き、モンゴルの歴史や歴史を学びました。また実際にモンゴルの人たちが暮らしているゲルという家を二時間かけて作り出しました。今思うとあらゆる事すべてが懐かしく、よい思い出です。あの時々の出来事、そしてあの時の私をこれからもずっと忘れずにがんばりたい。そして少しですが自分たちにちょっとだけ自信という物を持てたい。後輩へ一杯アドバイスや協力していきたいと思っております。この夏、一九九七年は私にとって最高の夏でした。最高の経験、思い出は私の大きな宝物になりました。

川崎地区としては今後機会のあることに、この「川崎環境宣言」をアピールしていきます。

それぞれの隊ではこの内容を活動プログラムに取り入れ、スカウト一人ひとりに環境保護についての意識づけと行動を起こすようにしていきます。

ボーイスカウト川崎地区コミッショナー 渡部 公

「キャンプに行つて」

●エコキャンプを徹底しよう

●自然に学ぶ



「私たちが、川崎のボーイスカウトは環境を考えたスカウトイングを実践します」

「年間を通じた」

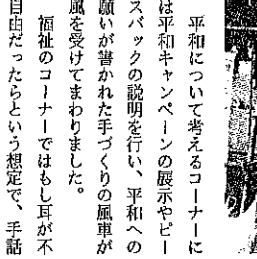
●年間目標表を作ります

●CO2家計簿を作ります

●家族とのコミュニケーションを密にします

●お年寄りを訪問します

●スカウトがリーダーシップをとって家庭の中で環境問題について積極的に問い掛けをします



「私たちが、川崎のボーイスカウトは環境を考えたスカウトイングを実践します」

「年間を通じた」

●年間目標表を作ります

●CO2家計簿を作ります

●家族とのコミュニケーションを密にします

●お年寄りを訪問します

●スカウトがリーダーシップをとって家庭の中で環境問題について積極的に問い掛けをします

# 沈まずに着けた！

## 子ども会



夏休みのさいこの日、8月31日にたま川で、ドロボね大会がありました。ふねは、ダンボールの箱を使って作りました。そして、みんながえんをかきました。わたしはものけの号のふねにのって、ぼろぼろ水をこいで、前にすすみました。いっしょけんめいにこいだのにぐるぐるまわって、早く前に行けなくて、「しずんじやうのかな」と思ったけど、ゴールまで行けてよかったです。けっかは2位、しょうじやうと、メダルをもらいました。うれしかったです。とてつよかったらうれしかったです。久地第2子ども会ふくそそちか

# 色々な体験コーナーなど

## ガールスカウトまつり開幕



「私たちが、川崎のボーイスカウトは環境を考えたスカウトイングを実践します」

「年間を通じた」

●年間目標表を作ります

●CO2家計簿を作ります

●家族とのコミュニケーションを密にします

●お年寄りを訪問します

●スカウトがリーダーシップをとって家庭の中で環境問題について積極的に問い掛けをします

「私たちが、川崎のボーイスカウトは環境を考えたスカウトイングを実践します」

「年間を通じた」

●年間目標表を作ります

●CO2家計簿を作ります

●家族とのコミュニケーションを密にします

●お年寄りを訪問します

●スカウトがリーダーシップをとって家庭の中で環境問題について積極的に問い掛けをします